

CORNING

# Corning 解体可能型レジン 4441J

手で解体できるゼリー状レジン



# Corning 解体可能型レジン 4441J

ケーブル接続部、端子部の防水、腐食防止、絶縁に効果を発揮します。

## 特長

### 高い防水・絶縁

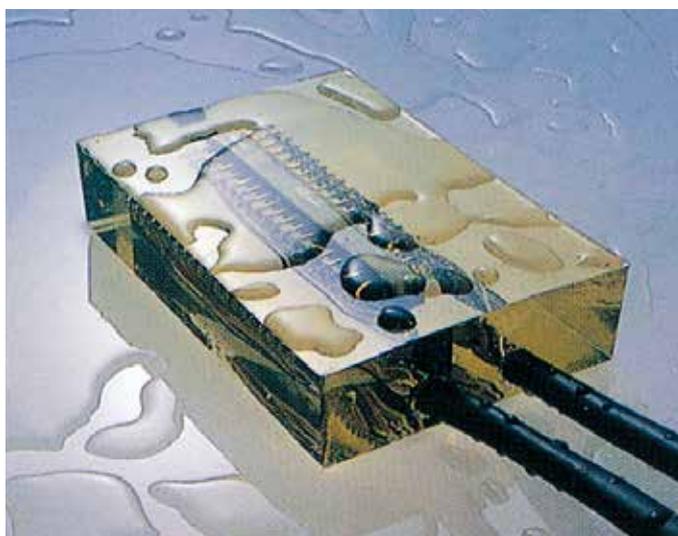
- ・粘度が低く、小さな空間や精密な部分への注入が可能。
- ・ゼリー状なので密着しやすく、水中でも完全な防水、防食、絶縁効果を発揮。

### 粘着質で軟らかい

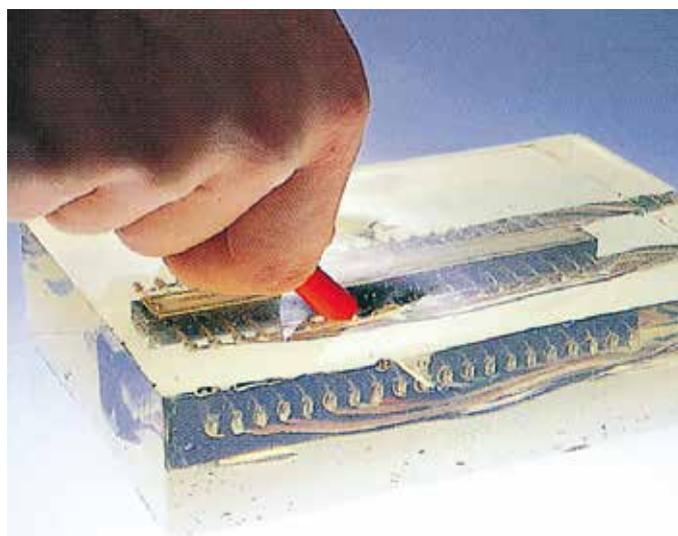
- ・硬化後も軟らかさを保ち、手で解体が可能。
- ・レジンの中にテスター棒を差し込み、回路チェックが可能。  
棒を抜いた後の穴は自然にふさがり、現状復帰。

### 他の材料への影響少

- ・通常環境下での硬化時の発熱が、40°Cを超えないので、ポリエチレンなど熱に弱い材料にも適用可能。
- ・シロキサンガスが発生しない、ポリウレタンレジン。



高い防水・絶縁



粘着質で軟らかい

# 特性

項目	試験方法	単位	数値
色 (硬化物)	-	-	淡黄白色 (半透明)
比重	比重計	-	0.9
混合比 (A : B)	-	-	1:1 (重量)
粘度 A/B	回転粘度計 BH 型 25°C	mPa·s	A36/B2300
ゲルタイム	粘度計 25°C、180g、10 <sup>5</sup> mPa までの到達時間	分	33
最高発熱温度	180g、25°C	°C	32
硬化時間 (完全硬化)	針入度計より推定 180g、25°C	時間	12
吸水率	水道水浸漬 7日間 25°C	%	0.03 (重量増)
引張強度 (伸び率)	JIS 3号ダンベル (試料 3mm 厚)	MPa (%)	0.22 (350)
体積固有抵抗率	JIS-K-6911 (試料 3mm 厚)	Ω・cm	1.6×10 <sup>12</sup>
絶縁破壊強度	JIS-C-2110	kV/mm	17
誘電率	JIS-K-6911 (1KHz)	-	2.7
誘電正接	JIS-K-6911 (1KHz)	-	0.0001
線膨張係数	熱機械分析	-	3.7×10 <sup>-4</sup>
許容温度範囲	-	°C	-40~+80

注意：※ 特性に関する数値は代表値であり、規格値ではありません。

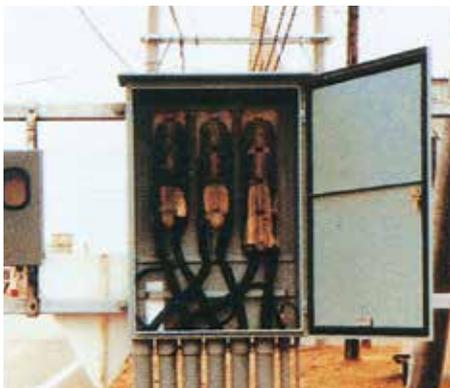
# 用途



海上や海岸に設置されているパイプラインの制御ケーブル接続部の腐食、酸化を防止。



接続端子箱内部の湿気、腐食、ネジのゆるみを防止。



制御ケーブル用端子板を湿気、塩分、粉じんから保護。



各種スイッチの信頼性を向上。



気密化を必要とする用途にも使用可能。

# 施工のヒント

## フレームを組み立てる。

たて型端子板や函全体を埋め込まない用途の場合には、透明のプラスチック板と瞬間接着剤等をもちいて用途にあった囲いや函を作る。

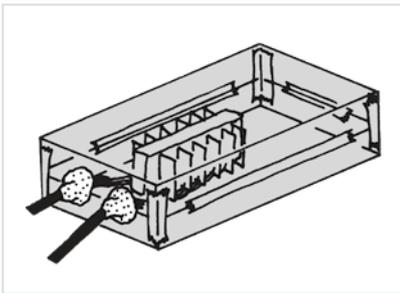
## 穴をパテやテープでふさぐ。

レジン粘度が低く、わずかなすき間からも漏れやすいので、パテやビニールテープで十分にシールをする。

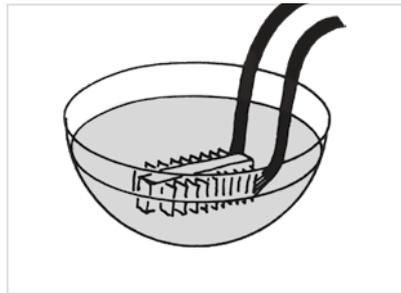
⚠️ ゴム系パテの中には本レジンによって悪影響を受けるものがありますので、ご使用にならないでください。ご不明な場合は弊社までお問い合わせください。

## カップのようなものに入れ、その中へ結線部をつける。

紙コップに混合したレジンを流し込み、その中に電線やケーブルの接続部をつけて硬化するまで放置する。



フレームを組み立てる。



カップのようなものに入れ、その中へ結線部をつける。

	セパレートパック容器入り	缶入り
仕様	B サイズ 180g (約 200ml) C サイズ 350g (約 390ml) D サイズ 600g (約 670ml)	1.5kg 缶 (約 1680ml) 3kg 缶 (約 3370ml)
混合方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>防湿保護袋を手で破り、セパレートパックをとり出す。</li> <li>中仕切りをはがす。仕切り上部の両側の袋をつまみ、両方の親指を差し込むように、引きはがします。</li> <li>袋の中で混合する。両手でもむようにして、透明になるまで混合してください。</li> <li>カドをハサミなどでカットし、絞り出すように注入します。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>A・B 角缶の各液を丸缶混合容器に静かに注ぎ入れてください。</li> <li>へらを使って十分に混合してください。(2分以内) へらをあらゆる方向に動かしレジンが均一に混ざるように行ってください。</li> </ol> <p>※混合容器内面のレジン、混ざりにくいためへらでよくこすって混合してください。</p>

注意：※ 2液を混合する際、やや白濁し、透明になれば混合完了ですが、ほぼ透明になっても、縞模様がある場合は、それが消えるまで混合してください。  
 ※ マンホール内などの狭い場所で大量に使用する際は、換気して臭気を逃すように心掛けてください。  
 ※ フチルゴム、EPゴム等のゴム材料の中には、本レジンによって膨潤する材料があります。予めテストしてご使用いただくか、弊社までお問い合わせください。  
 ※ 当製品は、通信、制御ケーブルの接続部保護、絶縁向けに設計されています。

⚠️ 安全にお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
 ⚠️ 製品改良などにより、外観および性能の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



コーニング インターナショナル株式会社 光通信事業部  
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ 7階  
 TEL: 03-3586-1054 • FAX: 03-3587-0906 • <http://www.corning.jp>

事前の通知なく製品の機能と仕様を改善、変更する場合があります。  
 コーニングはコーニング社の商標です。コーニング光通信事業部の商標については、[www.corning.com/opcomm/trademarks](http://www.corning.com/opcomm/trademarks)をご覧ください。  
 第三者の商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。  
 コーニング光通信事業部はISO9001を取得しています。  
 © 2019 Corning Optical Communications. All rights reserved. CRR-934-JP/ 2019 (March)